



「知の交流拠点プロジェクト」



講演会 & 交流会

関心ある分野・テーマについて

放送大学に集って

講演を聞き、

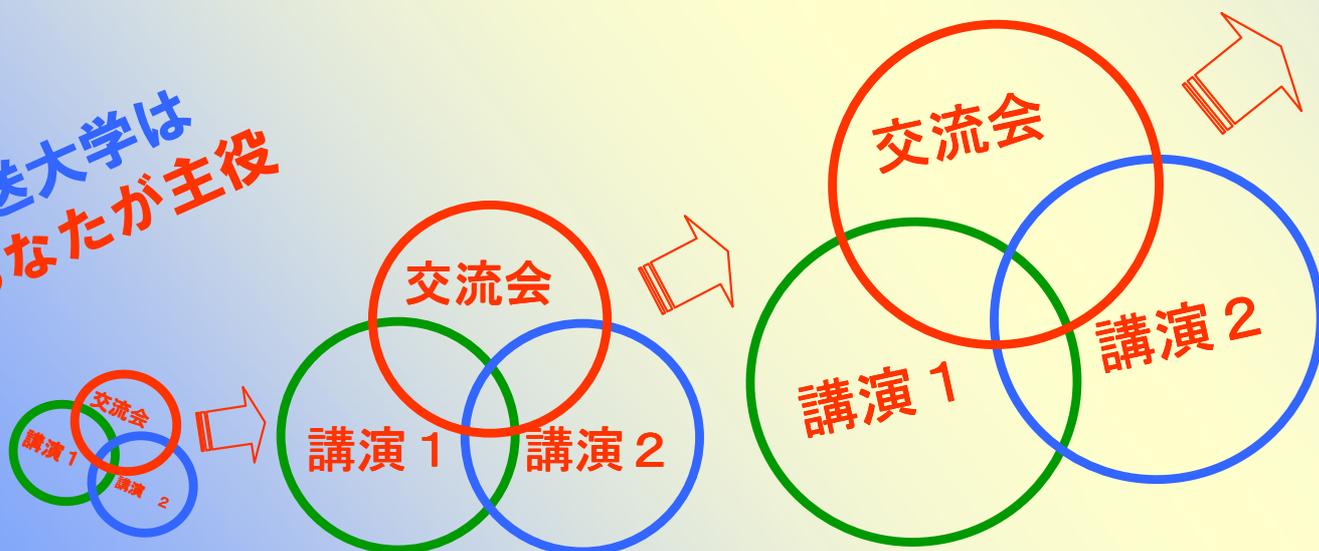
全員が参画できる交流会に

参加しませんか。



日時	程間	毎月1回 土曜日 午後(13:00~17:00) *	* プログラムは次ページをご覧ください。
	受付	: 13:00~13:30	
	講演(2件)	: 13:30~15:40	
	交流会	: 15:50~17:00	
場定	所員	徳島大学日亜会館2階講義室 (放送大学は3階)	
		50名(参加申し込みを受付ます。定員になり次第締め切ります。)	

放送大学は  
あなたが主演





## 平成27年度 後期 「知の交流拠点プロジェクト」 プログラム

回	月日	分野	テーマ	時間	講演題目	講師	所属
①	10月31日 (土)	健康分野	薬用植物と健康	13:30~	薬草を用いる健康生活	橋本敏弘	徳島文理大名誉教授
				14:40~	芳香療法~香りで変わるライフスタイル~	徳田育子	放送大学学生 放送大学卒業生
②	11月28日 (土)	地域防災	南海トラフ巨大地震	13:30~	地震・津波を迎え撃つ	村上仁士	徳島大学名誉教授
				14:40~	地域の自主防災組織の活性化と減災対策	渡邊 茂	とくしま学博士
③	12月26日 (土)	環境分野	エネルギー	13:30~	低燃費乗用車のエンジン	木戸口善行	徳島大学工学部教授
				14:40~	再生可能エネルギーの光と影	守家祥司	四国電力徳島支店長
④	1月9日 (土)	地域文化	四国霊場の文化	13:30~	四国へんろの成立	田中省造	四国大学教授
				14:40~	四国八十八ヶ所の天井絵	山上隆子	とくしま学博士
⑤	2月13日 (土)	ICT関連	コンピュータの活用	13:30~	すぐ使えるスマホ&タブレット	光原弘幸	徳島大学工学部講師
				14:40~	身近に使えるパワーポイント	岡田孝枝	とくしま学博士 放送大学卒業生
⑥	3月19日 (土)	在宅療養支援	超高齢社会の介護	13:30~	これからの在宅療養	多田敏子	放送大学客員教授
				14:40~	介護支援専門員への歩み	木村説子	放送大学学生 放送大学卒業生

講演概要は次ページ以降をご覧ください。

放送大学徳島学習センターでは、県内の皆様が自由に参加できる徳島における「知の交流拠点プロジェクト」を立ち上げることとなりました。このプロジェクトは、地域の皆様にとって関心の深い分野ごとにテーマを設定し、講演会を開催するとともに講演内容を中心に参加者全員による気楽に情報交換が行える知の交流の場を提供します。講演は関連分野の専門家や人材バンクに登録いただいた放送大学の学生や一般の方々をお願いしています。徳島大学には会場提供等で、徳島県には「まなびーあ徳島」との連携・広報活動等で、後援支援をいただいております。

### 放送大学「知の交流拠点プロジェクト」申し込み

参加者氏名	連絡先/電話番号	参加希望 番号 (複数番号記載可能)
例) 徳島太郎	088-602-0151	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

参加希望者は、準備の都合もありますので、下記まで電話、FAXまたはメールでお申し込み下さい。

**放送大学 徳島学習センター**

〒770-0855 徳島市新蔵町2-24 徳島大学日亜会館3F  
e-mail: toku-sc@ouj.ac.jp

TEL.088-602-0151  
FAX.088-602-0152  
HP: <http://www.ouj.ac.jp>



徳島裁判所東100m, 徳島大学本部内日亜会館内



「知の交流拠点プロジェクト」

講演概要(①～②)

回	講演題目	講師	講演概要
①	薬草を用いる 健康生活	橋本敏弘	<p>最近、日本人のライフサイクルの歪みからくる生活習慣病(癌, 心疾患, 脳血管疾患, 糖尿病など)が増大し, 社会的問題になっている。</p> <p>今回の生涯学習では、生活習慣病に効果のある食品(緑茶、ニンニク、生姜、トマトなど)、薬草(生薬)・漢方薬、キノコ(シタケなど)について解説する。漢方薬を理解するための基礎知識についても説明する。</p> <p>また、実際の薬草を見て、触れて、匂ってもらい、薬効を知ってもらう。</p>
	芳香療法～香 りで変わるラ イフスタイル ～	徳田育子	<p>芳香療法～アロマセラピー～という言葉はフランスの科学者ルネ・モーリス・ガット・フォセの造語で1937年に、精油の医療面での利用を扱った本Aromathérapie - les huiles essentielles hormones végétales (アロマセラピー、芳香療法)を発刊したことから生まれました。</p> <p>現在の薬のルーツであり、有史以来人間が知恵と経験で培ってきた「香り」の素晴らしさを普通の生活に取り入れて生き生きとしたライフスタイルをおくっていただくためのアドバイスをテーマにお話しさせていただきます。</p> <p>芳香植物と人間の関わり方の歴史とより具体的なアロマセラピーの実践方法について楽しくお伝えできれば幸いです。</p> <p>公益社団法人日本アロマ環境協会認定アロマセラピスト</p>
②	地震・津波を 迎え撃つ	村上仁士	<p>間近に迫る南海地震・津波について、被害最少化を図るために、何をなすべきかを考える。</p> <p>災害因(地震・津波)を「敵」に例えれば、防災・減災の基本的考え方は、①まず敵(地震・津波の特性)を知る、②徳島を襲った過去の地震・津波の被害の歴史を知る、③地震・津波時の徳島の弱点を知る、④次の巨大地震・津波による被害想定を行い、被害最少化を図る。</p> <p>大災害時に最も大切なことは、各家庭単位で次のことを徹底せよ!「あなた(方)が負傷しない、死なないことがあなた(方)の義務」</p>
	地域の自主防 災組織の活性 化と減災対策	渡邊 茂	<p>阪神淡路大震災では発生直後から市民は「自分の命は自分で守る」「自分達の地域は自分達で守る」と言う、セルフディフェンスの精神を持って互いに協力し助け合って減災活動に取り組み、多くの生命を救った。これは大変素晴らしい成果であり、阪神・淡路大震災が残した最大の教訓である。この教訓こそが自主防災組織設立の基盤となり全国に波及して行ったと考えられる。</p> <p>しかし歳月の経過と共に人々の防災についての考え方にも大きな変化が現れ、いつしか震災の教訓は忘れ去られ、親密だった地域住民間や近所間の繋がりも気薄となり、自主防災組織の多くが訓練もせず名目だけの組織となり自然消滅を待っているのが現状である。そんな現状では災害が発生しても組織として減災に結びつくような防災活動は困難である。そこで組織の活性化に向けた取り組みを行う必要があると痛感した。</p>



「知の交流拠点プロジェクト」

講演概要(③～④)

回	講演題目	講師	講演概要
③	低燃費乗用車のエンジン	木戸口善行	<p>地球温暖化は近年の重要な問題になっています。このため、自動車の取り組むべき課題として、低燃費化の比重が大きくなっています。自動車の低燃費のためには、エンジン効率の向上、駆動系の改良、走行抵抗の低減、車両の軽量化などが行われています。</p> <p>本講演では、エンジン効率の向上を取り上げ、近年発売されている低燃費乗用車のエンジン燃焼技術について解説します。ガソリンエンジンとディーゼルエンジンで燃焼はどのように違うか、それぞれのエンジン燃焼で燃費対策はどのように違うか、新燃焼技術を取り入れて低燃費エンジンをつくっていくにはどのような課題があったか、などについて述べます。</p>
	再生可能エネルギーの光と影	守家祥司	<p>四国の太陽光発電は、2012年の再生可能エネルギー固定価格買取制度の開始以降、急拡大しています。太陽光をはじめとする再生可能エネルギーは、発電時のCO2フリー、また、純国産エネルギーとして、今後の普及が期待されています。その一方で、出力が天候に左右され不安定、現時点では高コスト、太陽光以外は発電条件から立地点が限られるといった課題があります。</p> <p>再生可能エネルギーの「先進国」といわれるドイツの現状をもとに、日本における再生可能エネルギーの今後の位置づけを考えてみたいと思います。</p>
④	四国へんろの成立	田中省造	<p>四国へんろとは、弘法大師空海ゆかりとされる四国八十八ヶ所を巡礼する民間の宗教的習俗のことで、また、巡礼する人々そのものをも指します。では、この四国へんろはいつ成立したのでしょうか。これほどへんろが盛んになった今日でも、この成立時期の問題はきわめて難しく、平安時代成立説、中世成立説、江戸時代成立説など諸説あって帰一することがありません。その開きは約900年に及びます。この問題について皆様と一緒に考えてみたいと思います。</p>
	四国八十八ヶ所の天井絵	山上隆子	<p>日本各地の寺院や神社には、様々な天井絵があります。宗教、祈願、装飾など様々な目的で描かれる、見る人を魅了します。これまで、関東から九州の社寺の天井絵を見てきました。本公演では、四国八十八箇所の天井絵を紹介します。藤井寺の三十三畳もある雲龍図や立江寺の格天井を飾る花鳥画など、目を潤すすばらしい文化遺産が身近にあることをお伝えします。</p> <p>私は、日本画を長年描いてきて、そのご縁から知人のお寺の天井絵政策に携わったことがあります。日本画で使われる色彩の華やかさ、その難しさなどもお話いたします。</p>



「知の交流拠点プロジェクト」

講演概要(⑤～⑥)

回	講演題目	講師	講演概要
⑤	すぐ使えるスマホ&タブレット	光原弘幸	<p>スマホ(スマートフォン)やタブレット(iPadなど)が身近なデジタル機器となり、私たちの生活や知的好奇心を満たすために広く活用されています。</p> <p>本講演では、スマホやタブレットに搭載されている技術、スマホやタブレットを使う上で知っておきたい用語、無償ですぐに使える役に立つアプリ(ソフトウェア)を紹介し、スマホやタブレットが作り出す未来を皆さんと予想したいと思います。</p>
	身近に使えるパワーポイント	岡田孝枝	<p>PowerPointはMicrosoft社が提供するプレゼンテーションソフトです。ビジネスの様々なシーンで利用されており、ビジネスでは欠かせないツールになっています。しかし、私たちの日常生活においても力を発揮します。例えば、年賀状、フォトムービー、CDジャケット、アルバム、その他 です。</p> <p>今回は、私の経験の中からその事例を紹介しながらPowerPointの概要や機能紹介をいたします。</p>
⑥	これからの在宅療養	多田敏子	<p>団塊の世代が75歳以上になる2025年には、地域包括ケアシステムを構築することが目標となっており、地域で支えあうことが課題になっています。これからの介護は、介護する側の体制だけでなく、介護をされる者の心構えも重要です。なぜなら、今までのように、介護する人に「お任せ」ではなく、どのように療養生活を過ごしたいかを自分で意思決定しなければならなくなるからです。自分らしく誇りをもって人生の最期を迎えるためには、元気で、自分に考える力があるときから準備が必要です。この講座では、それらを一緒に考えます。</p>
	介護支援専門員への歩み	木村説子	<p>放送大学で学び、気がつけばこれからの社会において自分が社会に貢献できる活躍の場として介護支援専門員となっていました。</p> <p>ここでは、放送大学に入り今後の新しい職に就く予定の介護支援専門員までの歩みについて述べたいと思います。</p>